

# 平成 2 9 年度委員会活動成果報告会

**2018-6-8**  
**先端技術調査委員会**

# H29年度 先端技術調査委員会

## ●委員会紹介

### ●ミッション

1. 会員各社の発展に寄与する最先端技術情報及び工業会関連最新情報の提供を通じた会員満足の実現
2. 全国ネットの先端技術セミナー提供活動を通じて工業会プレゼンス向上へ寄与し、関西支部に限定せず広く会員満足及び次期会員候補勧誘へ貢献
3. セミナー事業全体としての運営を目指す

### ●正副委員長

委員長 清水 哲夫 (株)堀場エステック)

副委員長 北川 伸一 (島津システムソリューションズ(株))

副委員長 福崎 郁夫 (株)エネゲート)

●参加委員 18社18名

●開催回数 7回

# H29年度 活動の目標と成果・課題

## 1. 先端技術セミナー・先端技術施設見学の提供

### ① 計画6回のセミナーを実施

内4回は当委員会主催

内2回はJEITA主催のセミナーに参画

### ② 計画2回の見学会の内1回を実施

東京での見学会未実施

課題:見学会未実施⇒東京委員への支援が不足

## 2. JEMIMA並びに先端技術調査(委)のプレゼンス発揮

### ① 当委員会主催セミナーの内3回をWeb会議にて東西会員に提供

### ② 計測展2017委員会セミナーを開催

# H29年度 活動の目標と成果

## 3. 委員会運営

- ① セミナー各1回を知財委員会、産業計測機器・システム委員会と合同開催
- ② 活動を関西から全国ネットのため、東京地区委員3名登録頂き、東京地区でセミナー1回開催

## 4. 委員会成果のJEMIMA全体への共有化

- ① 過去開催セミナーの技術情報を成果として準備を開始

## 5. 関連団体との連携

- ① 2回のJEITA主催セミナーに参加。協業を検討開始し30年度から1部合同開催
- ② 産学連携の窓口として大阪大学産業科学技術研究協会と相互会員加入を実現  
※阪大産研協会；阪大シーズと産業界ニーズのマッチング

# H29年度 先端技術調査委員会 年間開催計画・実績



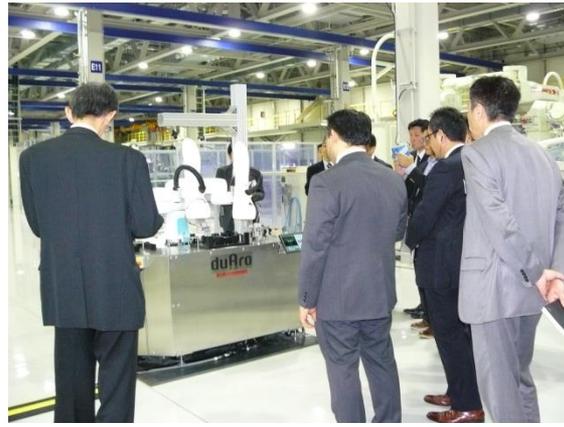
開催番号	開催日	開催場所	インターネット 接続	委員会概要
第72回 (セミナー)	2017/5/11	大阪	大阪⇨東京	テーマ:「フィールドロボティクスにおける計測と制御」 講師:立命館大学 工学部 電気電子工学科教授 深尾 隆則 様
第73回 (台風中止)	2017/8/7	神戸	なし	見学会 川崎重工業(株)西神戸工場ロボット第1工場 ショールーム
第74回 (セミナー)	2017/9/14	大阪	なし	講演会 JEITA 2017 技術セミナー テーマ:イノベーションを通じた日本の成長戦略 ～ビッグデータとAI技術がビジネスを変える～
第75回 (セミナー)	2017/10/3	東京	東京⇨大阪	テーマ:「知財戦略セオリーとその限界論～IoT時代にどのように対応してい くべきか」 講師:鮫島法律事務所 鮫島 正洋 様
第76回 (見学会)	2017/11/2	神戸	なし	見学会 川崎重工業(株)西神戸工場ロボット第1工場 ショールーム
第77回 (セミナー)	2017/11/30	東京	なし	計測展2017TOKYO委員会セミナー テーマ:「AI、IoT時代のデータの利活用(仮題)」 講師:東京大学大学院 情報学環 教授 越塚 登 様
第78回	2017/12/	東京	なし	見学会開催なし
第78回 (セミナー)	2018/1/22	大阪	なし	JEITA 2018新春技術セミナー テーマ:「日系企業の対米投資の現状と第4次産業革命による先端製造 業分野での新たなビジネスチャンス」 講師:日本貿易振興機構(JETRO) 大阪本部長 曾根 一郎 様
第79回 (セミナー)	2018/3/2	大阪	大阪⇨東京	テーマ:「製品のライフサイクル支援からの話題提供」～製品の概念設計 で将来起こりうる不具合等を検出できるかもしれない方法論と生産シミュ レーション・スケジューリングで分散性を考慮した方法論の紹介～ 講師:大阪大学大学院 工学研究科 教授 荒井 栄司 様

# H29年度 最先端科学技術施設見学会開催

＜第76回戦略(委)見学会:2017年11月2日

於:川崎重工業(株) 西神戸工場 ロボットショールーム＞

- ・近年自動化、省力化の要求で需要が高まっている産業用、民生用ロボットショールームを見学
- ・世界1位のロボット生産国である日本において応用範囲が拡大しつつある。



※成果:見学者一同、ロボット分野の最先端状況並びに今後の動向について認識を深めた。

# H29年度 JEMIMAプレゼンス発揮への寄与

## <第77回先端技術調査(委)計測展2017TOKYO

委員会セミナー 2017年11月30日 於：ビッグサイト >

講師：東京大学 教授 ユビキタス情報社会基盤センター長  
越塚 登 様

テーマ：「AI、IoT時代のデータ利活用」

- ・AI、IoTなどの情報通信技術が急速に発展、普及している
- ・得られるデータの利活用により生産現場、製品、サービスなどの分野で生産性、品質の向上に役立てる。



※成果：急速に普及しつつあるAI、IoT、ビッグデータについてセミナー実施。一般参加含む65名様のご出席を頂き、JEMIMAプレゼンス発揮を支援

# H30年度事業計画

## 1. ミッション

(1) 会員各社の発展に寄与する最先端技術情報及び工業会に関連する最新情報の提供を通じた会員満足の実現

(2) 全国ネットの先端技術セミナー提供活動を通じて工業会プレゼンス向上へ寄与し、関西支部に限定せず広く会員満足及び次期会員候補勧誘へ貢献

### 【新規】

(3) 先端技術紹介のチャンネル作りの調査・構築並びに運営

(4) 企画運営会議セミナー事業TFと連携し、従来の「総務人事系研修」に「基礎技術系の研修」を加え、会員満足の拡大を図る

# H30年度 重点事業(1/3)

1. 最先端技術及び”工場設備とIoT”、”AIと自動運転、自動化技術”等JEMIMA方向性(計測展2018大阪サブテーマ)に準拠したテーマ内容の講演会開催・先端技術施設見学

- ① 技術講演会 4～5回/年
- ② 関連団体講演会への参加 2回/年
- ③ 先端技術施設見学会 1回/年 関西

2. JEMIMA及び先端技術委員会のプレゼンス向上

- ① 東京・関西でのセミナー開催、相互インターネット接続  
(東京:1回/年、関西:3回/年)
- ② 会員満足、次期会員勧誘への貢献
  - ・交流会によるコミュニケーションの場の提供
  - ・非会員向けセミナー開催 (計測展2018大阪)

# H30年度 重点事業(2/3)

## 3. 委員会運営

- ① 工業会セミナー事業全体としての運営をめざす
  - ・新規「基礎技術研修」開催: セミナー事業TFとの連携
- ② 東京地区委員との連携強化(東京地区企画会議開催予定)

## 4. 成果の共有

- ① 成果報告会での発表
- ② JEMIMA 新Webへの活動成果、委員会の活動内容の掲載

## 5. 新規委員会活動の仕組み作りに向けたチャレンジ

- ① 政策課題部会内・他団体との新たな連携
  - a. 部会内でのニーズの把握
  - b. JEITA関西支部との合同講演会企画
  - c. 大阪大学産業科学研究協会との協業

# H30年度 重点事業(3/3 新規)

## ② 新たな会員満足への取組み

- ① 基礎技術研修+先端技術紹介へ対象・分野を拡大し、若手技術者育成にチャレンジ
- ② JEMIMA 企画運営会議セミナー事業TFとの連携、(独法)近畿職業能力開発大学校への講師依頼  
※出張型オーダーメイド能力開発セミナー (3時間×2回)程度

## 6. H29年度課題へのアクション

### ① 東京地区活動活性化

- a. 東京地区企画会議を開催し連携強化
- b. セミナーを協力して開催
- c. 東京地区の先端技術者との交流拡大

# H30年度 先端技術調査委員会 年間開催計画とWebへの成果掲載イメージ



第80回	2018/5	関西	○	委員会セミナー
第81回	2018/7	東京	○	委員会セミナー
第82回	2018/8	関西	×	JEITA合同見学会
第83回	2018/9	関西	×	JEITAセミナー
第84回	2018/11	関西	×	計測展大阪 委員会セミナー
	2018/11	関西	×	セミナーTFとの連携による基礎技術講座(第1回)
第85回	2018/12	関西	×	セミナーTFとの連携による基礎技術講座(第2回)及び委員会セミナー
第86回	2019/1	関西	×	JEITAセミナー
第87回	2019/2	関西	○	産業計測機器・システム(委)合同セミナー

Webへの成果掲載  
のイメージ

年度	2006年度より開催した戦略的基盤技術検討委員会開催内容 (第73回以降:先端技術調査委員会に改称)			バイオ	化学
		内容	講演者(敬称略)	B	C
2008 以前	1回	有機ELの最新情報	大阪大学 先端科学イノベーションセンター教授 大森 裕 様		1
	2回	シリコンナノ結晶をベースにする一重項酸素発 生光増感剤の発生メカニズムの解析及び、化 学、生物、食品分野への応用探求	神戸大学 工学部電気電子工学科 助教授 藤井 稔 様		1
	3回	キャピラリー/マイクロチップを用いるマイクロ/ナ ノスケール高性能分離分析	京都大学大学院工学研究科材料化学専攻教授 大塚 孝二 様		1